

## 海外留学に関するアンケート調査（医育機関）結果について

対 象：89 医育機関

回 答 率：100%

調査内容：1) 現在の留学者、2) 留学予定者、3) 3年以内の留学希望者について

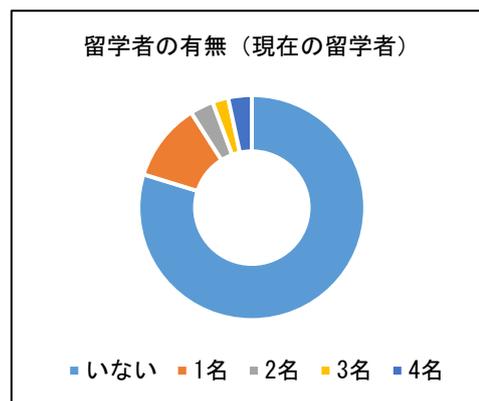
人数、学位の有無、留学期間、留学先（国、機関名）、留学に際し医局として配慮・工夫したこと

### 1) 現在の留学者

#### 1. 現在の留学者の有無

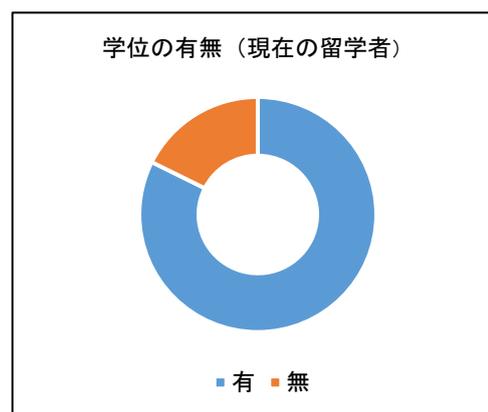
	回答数	%
いない	71	79.8
いる（1名）	10	11.2
いる（2名）	3	3.4
いる（3名）	2	2.2
いる（4名）	3	3.4
合計	89	

現在の留学者数：34名



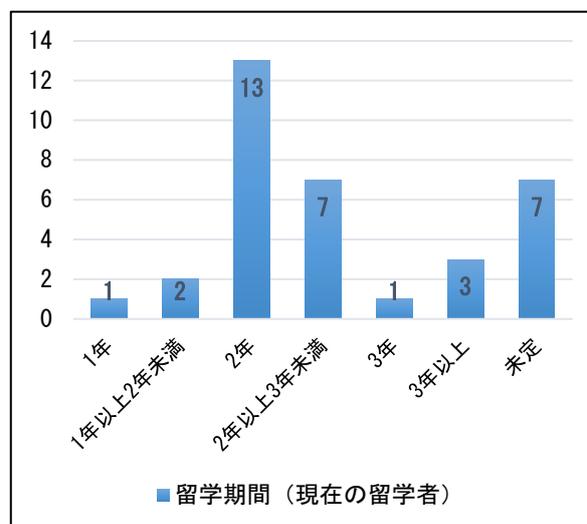
#### 2. 学位の有無

	回答数	%
有	28	82.4
無	6	17.6
合計	34	



#### 3. 留学期間

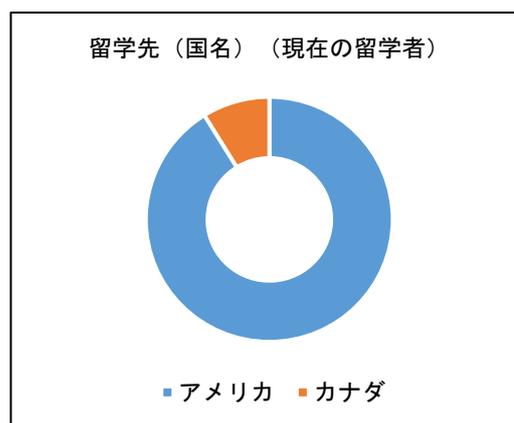
	人数	%
1年	1	3
1年以上2年未満	2	5.9
2年	13	38.2
2年以上3年未満	7	20.6
3年	1	3
3年以上	3	8.8
未定	7	20.6
合計	34	



\*コメント：2年の予定だったがコロナがあったので延長した。

#### 4. 留学先（国名）

	人数	%
アメリカ	31	91.2
カナダ	3	8.8
合計	34	



#### 5. 留学先（機関名）

アメリカ：31名（1名の留学先が2校）

6名：1機関

- ・Harvard University（\*「HarvardからStanfordに」を含む。「Dana-Farber Cancer Institute, Harvard university」を含む。）

5名：2機関

- ・Stanford University（\*「HarvardからStanfordに」を含む。）
- ・UCSD(University of California, San Diego)

4名：1機関

- ・NIH (National Institutes of Health)

2名：1機関

- ・University of Miami

1名：10機関

- ・Rockefeller University
- ・Johns Hopkins University
- ・UCLA (University of California, Los Angeles)
- ・Ohio State University, OSU
- ・University of Pittsburgh
- ・UT Galveston
- ・University of North Carolina
- ・Georgia State University
- ・Mayo Clinic
- ・Monell Chemical Senses Center

カナダ：3名

- ・University of Toronto
- ・McGill University
- ・Vancouver University

6. 留学に際し、医局として配慮・工夫したこと。

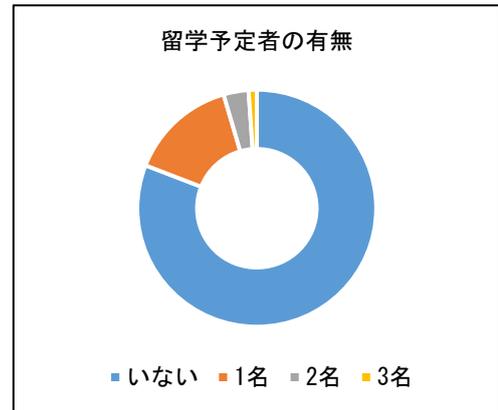
・海外留学生用研究費に応募させて何とか当選させた。
・本人の意向を最大限尊重した。
・医局独自の留学助成金。
・留学支援金の給付。
・教授交代の時期であり、タイミングが難しかった。
・コロナ禍のため渡米時期につきかなり揉め、少しイレギュラーな時期での留学となりました。
・同時期に2名出すのは人事的に少し大変でしたが、本人のキャリアを考え、このタイミングで出しています。
・助教枠の確保。
・学位取得、助教枠の確保。
・帰国を急かさないこと。
・経済的な支えとして、最初の一年間は東北大学助教（現職出張）として派遣するようにしています。
・当初は助教（現職出張）で派遣し、半年後に先方職員に異動予定です。ロータリークラブの国際奨学金の適応になり（国内のロータークラブで審査）、2年間で約6万ドルがサンディエゴのロータリークラブから支給されます。
・科研費等の外部資金の獲得し、旅費の一部に充てた。

## 2) 留学予定者

### 1. 留学予定者の有無

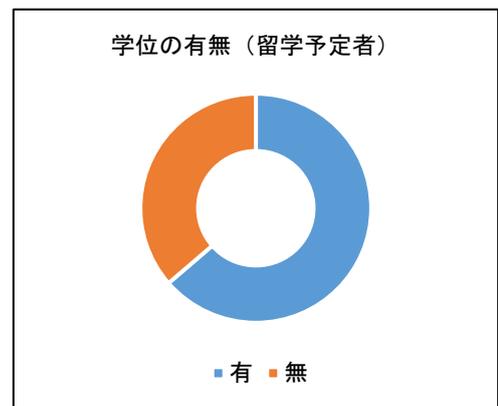
	回答数	%
いない	72	80.9
いる (1名)	13	14.6
いる (2名)	3	3.4
いる (3名)	1	1.1
いる (4名)	0	0
合計	89	

留学予定者数 : 22 名



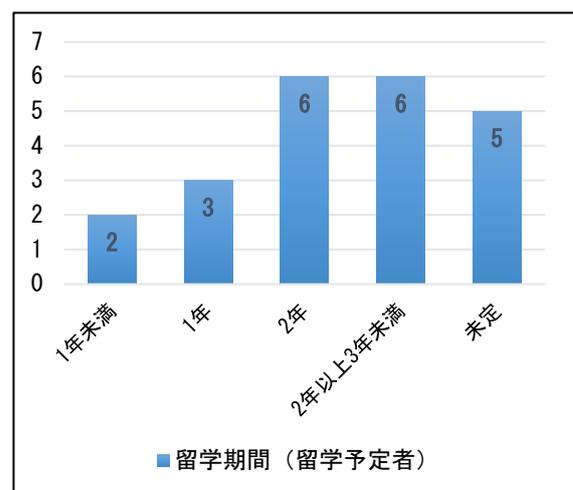
### 2. 学位の有無

	回答数	%
有	14	63.6
無	8	36.4
合計	22	



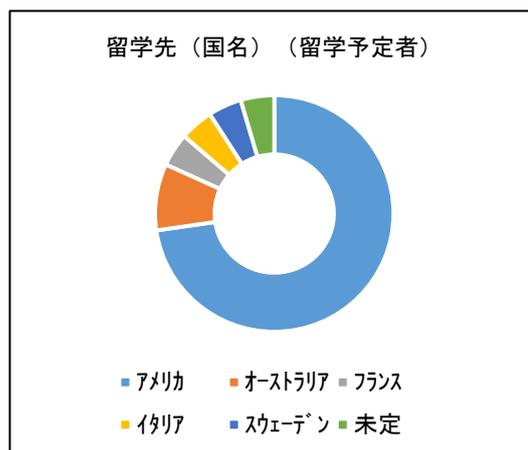
### 3. 留学期間

	人数	%
1年未満	2	9.1
1年	3	13.6
2年	6	27.3
2年以上3年未満	6	27.3
未定	5	22.7
合計	22	



#### 4. 留学先（国名）

	人数	%
アメリカ	16	72.7
オーストラリア	2	9.1
フランス	1	4.5
イタリア	1	4.5
スウェーデン	1	4.5
未定	1	4.5
合計	22	



#### 5. 留学先（機関名）

アメリカ：16名

2名：3機関

- ・Stanford University（\*調整中を含む）
- ・Vanderbilt University
- ・University of North Carolina

1名：8機関

- ・Harvard University
- ・Northwestern University
- ・Tulane University
- ・UCLA (University of California, Los Angeles)
- ・University of Minnesota
- ・University of Wisconsin-Madison
- ・University of Michigan
- ・Mayo Clinic

検討中：2名

オーストラリア：2名

- ・University of Adelaide
- ・Adelaide and Flinders Universities

フランス：1名

- ・Montpellier University

イタリア：1名

- ・Gruppo Otologico

スウェーデン：1名

- ・Lund University

未定：1名

6. 留学に際し、医局として配慮・工夫したこと。

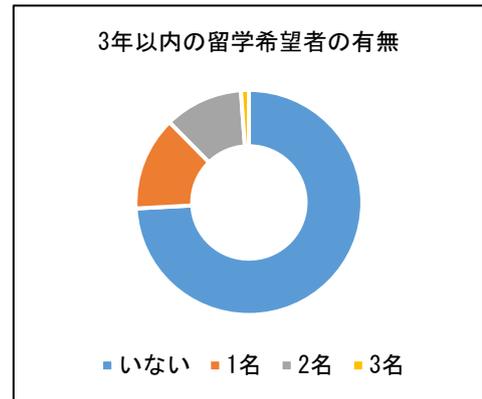
・ 助教のまま研究休職として留学しますので、ある程度の収入があります。
・ ポストの確保、資金の援助、患者さんの引き継ぎ。
・ 金銭面の配慮（現在手配中）。
・ 学位取得、助教枠の確保。
・ 現在同大学に留学している先生と WEB で定期的に会議を行っています。
・ 助教枠の確保。
・ 留学支援金の給付。
・ 家庭環境のほか滞在費、国内不在時の業務代行を賄うために科研費・国際共同研究加速基金に応募し結果待ちの状態。
・ 配偶者の留学に伴う耳鼻科専門医取得前の渡航となるため、専門医受験資格維持のための要件確認など。
・ 教室長任命時期を配慮。
・ ミシガン大学にはこれまで8名が留学しているため、希望者がいたら留学できる体制があります。
・ 当科基礎研究の継続について体制整備を行った。
・ なるべくお金を取らせるようにした。
・ 帰国を急かさないこと。

### 3) 3年以内の留学希望者

#### 1. 3年以内の留学希望者の有無

	回答数	%
いない	66	74.2
いる (1名)	12	13.5
いる (2名)	10	11.2
いる (3名)	1	1.1
いる (4名)	0	0
合計	89	

3年以内の留学希望者数：35名



#### 2. 留学期間

	人数	%
2023年頃	4	11.4
2024年頃	15	42.9
2025年頃	6	17.1
2026年頃	2	5.7
未定	8	22.9
合計	35	

\*未定と回答した方のコメント

小さい子供がいる関係で渡航時期は未定

